

戸河内あすなろ園における新型コロナウイルス陽性確認について【第1報】

令和4年11月15日

令和4年11月8日、発熱症状があった利用者さんと職員各1人の抗原検査を実施した結果、2人とも陽性であることが判明し、その後病院での正式な検査で陽性が確定したため、利用者さんについては施設内の別室に隔離して居室療養を、職員については直ちに自宅療養としました。この陽性者発生に伴い、施設内での感染状況を確認するため、2人以外の利用者さんと職員については濃厚接触の有無にかかわらず全員2回の抗原検査を翌9日と3日後の11日に実施しました。その結果、全員陰性であることが判明し、11月15日現在新たな感染者は発生していません。

残念ながら、施設内で感染者が発生したことにより、当園独自で取り組んでいる感染対策レベルが最高位の5となり、最も厳しい感染対策・外出・外泊・面会制限に取り組む必要が生じたため、今年度最大のイベントで利用者の皆さんが大変楽しみにされていた11月18日・19日の両日に予定の香川県への一泊旅行については、苦渋の決断で延期とさせていただきます。

これまで2年半年余り、何とか利用者さんや職員の理解と協力のもと懸命な感染対策により1人の感染者も出さずおりましたが、今回ついに陽性者発生となりました。利用者ご家族をはじめ、多くの関係者の方にご心配とご迷惑をおかけしましたことを、あらためてお詫び申し上げます。

以上、このたびの施設内における新型コロナウイルスの陽性者発生と現況について報告をさせていただきます。

社会福祉法人親心会 指定障害者支援施設
戸河内あすなろ園施設長 栗栖 一 正